

SGLT2 阻害剤による 2 型糖尿病患者の 心・腎保護作用についての検討

なが み はる ひこ くろこうち かず たか やま がた しん ご
長 見 晴 彦¹⁾ 黒河内 和 貴¹⁾ 山 形 真 吾¹⁾
たか はし のぶ ゆき たけ だ ふみ のり すが もり たかし
高 橋 伸 幸¹⁾ 武 田 文 徳²⁾ 菅 森 峰²⁾
いし だ しゅう こう ます はら まさ あき にし お ゆう じ
石 田 周 幸²⁾ 増 原 昌 明²⁾ 西 尾 祐 二²⁾
いし ばし ゆたか
石 橋 豊²⁾

キーワード：2 型糖尿病，耐糖能改善，血中 BNP 値，尿蛋白

要 旨

2 型糖尿病10症例に対して Sodium glucose cotransporter2 (SGLT2) 阻害剤投与後24ヶ月間の血中 HemoglobinA1c (HbA1c) 値，血圧，血中 Hematocrit (Ht) 値，尿所見，estimated-Glomerular Filtration Rate (e-GFR)，BNP 値の経時的変化を測定した。患者は男性 4 例，女性 6 例，平均年齢は57.8±8.9歳，糖尿病罹患期間は平均7.7±2.8年であった。平均血中 HbA1c 値は SGLT2 阻害剤投与後に有意に (P<0.05) 低下し，血圧は収縮期・拡張期血圧ともに SGLT2 阻害剤投与後に有意に (P<0.05) 低下した。平均血中 Ht 値は24ヶ月間にわたり有意な変化は認めなかった。血中 BNP 値は SGLT2 阻害剤投与後に低下，eGFR は投与初期に糖尿病に伴う過剰濾過の改善は認めその後は徐々に元値に復した。また 6 症例において尿蛋白減少を認めた。以上より 2 型糖尿病症例への SGLT2 阻害剤投与は耐糖能改善のみならず臓器保護作用が期待でき心・腎障害合併 2 型糖尿病患者の治療薬として有効であると考えられた。

はじめに

本邦においては過栄養に伴う肥満によるインスリン抵抗性増大や膵β細胞機能不全によって糖尿

病患者，及び予備軍は65歳以上の高齢者を中心に高い水準にある^{1,2)}。糖尿病治療薬の中でも従来の機序とは異なるインスリン非依存性の新規治療薬である sodium glucose cotransporter2 (SGLT2) 阻害剤は2014年に本邦で発売され現在まで 6 製剤が臨床使用されている。その作用機序は尿糖過剰排泄による膵臓β細胞負荷軽減，体重減少作用を有しインスリン抵抗性に殆ど影響されずに持続的

Haruhiko NAGAMI et al.

1) 島根大学医学部総合医療学講座大田総合医育成センター

2) 大田市立病院

連絡先：〒693-8501 出雲市塩冶町89-1

島根大学医学部総合医療学講座